

<b>重点施策</b> 博物館活動の充実	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価実施者</td> <td>所 属</td> <td>美術自然史館</td> </tr> <tr> <td>職・氏名</td> <td>館長 中塚 智勝</td> </tr> </table>	評価実施者	所 属	美術自然史館	職・氏名	館長 中塚 智勝
評価実施者	所 属		美術自然史館			
	職・氏名	館長 中塚 智勝				

重点施策の概要	目的	芸術文化の創造活動、そして地球と生命を学ぶ拠点である「美術自然史館」、子どもの科学する心を育む拠点である「こども科学館」、歴史的文化遺産保存・研究の拠点である「郷土館」、人と自然をつなぐ拠点「森のかがく活動センター」を活性化させ、博物館活動の充実を図る。
	今年度の主要事業	①企画展の開催「ふるさとの画家 坪谷六郎展」「たきかわカルタ原画展」「そら、なう展」事業費 1,933千円 ②普及事業の実施 事業費 512千円 ③「わくわくサイエンス事業」の実施 事業費 125千円 ④郷土館の収蔵資料を活用した移動郷土館の実施(駅前広場 く・る・る、江部乙小学校、市役所ロビー) ⑤アウトリーチ事業「ちいさな・はくぶつかん」の実施

事業の目標と実績	区 分		単位	H21	H22	H23	特記事項
	1	入館者数		目標	人	31,700	
		実績		31,341	31,114	27,184	H23美自15,431こども10,953 郷土 800
2	企画展の入場者数	目標	人	10,000	10,000	10,000	H22 海牛大化石展・ダ・ヴィンチ展
		実績		5,606	8,898	5,109	H23 そら・なう展・坪谷六郎展
3	市内小中学生の入場者数	目標	人	3,000	3,000	3,000	・団体(学校の授業)として入場した数
		実績		601	1,010	721	・H22 延べ24校 ・23 延べ15校
4	普及事業の参加者数	目標	人	2,000	2,000	2,000	
		実績		1,918	1,871	1,595	
5	年間パスポートの発行数	目標	枚	1,000	1,000	1,300	
		実績		749	1,085	553	
6	パスポートリピート数	目標	人	1,500	1,500	1,500	平均再来館回数 H22 0.78回
		実績		1,094	855	806	H23 1.46回
7	学校団体受入生徒数	目標	人	5,000	5,000	5,000	保育所・小中高生の団体受入数
		実績		2,883	2,925	2,839	

事業の分析効果の検証	・平成23年度は、過去4年間の入館者数を下回っており、取り組みの中で来館者ニーズに対応できていない部分もあると考えられる。 ・年間パスポートの発行枚数は、前年の約半数の553枚にとどまったが、購入者の再来館数は1.46回と前年を上回った。何度も博物館に足を運んでもらうために、「月イチリカ室」の立ち上げなど、新たな普及事業を実施したことがリピーターの増にもつながった一因になったと思われる。 ・企画展の入場者数が前年より減り、そのことが入館者数の減少にもつながったことから、より魅力的な展覧会の開催及びPR活動の拡充が求められる。
------------	---

課題	・常設展示物(室)のリニューアルが必要 ・道内外への情報発信の手段として、魅力あるホームページの充実～入館者増につなげる。 ・身近な場所で芸術に触れ、故郷の自然や歴史を学ぶ場として、地域の学校との連携の強化
----	---

評価	B	<b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 入館者数では減少したが、美術自然史館とこども科学館を連動させ合同特別展を催すなど、初めての試みを行い、地域の博物館として、身近な場所で芸術に触れ、故郷の自然や歴史を学ぶ機会の充実にも努めた。 <b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか</b> ・入館者増の目指す観点から、市民や子どもたちが興味をそそる企画展や普及事業を展開していく必要がある。
----	---	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	平成28年の開館30年に向け、ふるさと滝川を「記憶」し続ける方策として[英遠芸術の振興]「タキカワカイギユウ」を核とした滝川海の再現、「市民ギャラリーの新設」などリニューアルに向けた検討を進めていく。 入館者増に向けた取り組みの一つとして、学校連携を明確なものとして位置づける。また、ホームページ、フェイスブック等を使った、情報社会における新たな情報発信に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input checked="" type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	開館30年に向けての新たな展望もお持ちなので、利用者向上が図られるようを検討いただきたい。
---------------	---